

公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 令和3年度 定時総会議事録

日時：令和3年6月20日（日）午後2時00分～3時00分

会場：公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 事務所およびWEB

司会：副会長・総務部長 藤田洋輔

定刻になり、開会に先んじて司会者 藤田洋輔によりWEBミーティングツール（ZOOMミーティング）にて出席者の音声と画像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることの確認を行い、不備がないことを確認した。

また、議事に先立ち、第8号議案「休会制度の件」については、定款施行規則の改定事項であり、理事会での審議によって既に承認を得ているため、報告事項に訂正させていただくとの説明があった。

1. 開会の辞

秦宗広副会長により、開会が宣言された。

2. 会長挨拶

清水慎司会長より、新型コロナウイルス感染症の終息が見えないが、鍼灸業界の発展と経営の安定に取り組みたいとの挨拶が行われた。

3. 議長選出

司会者が定款第16条に従い、議長について出席者に諮ったところ、会場より司会者一任との声があり、これについての異議を尋ねたところ異議なしとの声が挙がり、司会者により横浜市の会員千葉良仁氏が指名された。

4. 定足数の確認

千葉議長が議長席につき、次いで議長により、議決権総数222名中、出席者数21名、委任状数154名、合計175名の出席があり、定款第18条に従い、議決権総数の2/3以上の出席を確認したため、本定時総会の成立が宣言された。

5. 議事録署名人および書記の指名

定款第19条に従い、議事録署名人に議長の千葉良仁、代表理事の清水慎司、監事の森下元及び日野博の4名が指名され、書記には事務局の吉田志郎が指名された。

6. 議事

関連のある第1号議案から第3号議案までの審議を一括上程方式にて行った。

第1号議案 令和2年度事業報告

秦宗広副会長が総会資料「令和2年度事業報告」の要点を読み上げ、各部の事業についてまとめて報告された。

第2号議案 令和2年度決算報告

古思成人財務部長より、総会資料別紙3「決算報告書」に基づき詳細に報告された。

第3号議案 令和2年監査報告

森下元監事より、総会資料別紙4「会計監査報告書」のとおり、すべてにおいて問題はなく、適正に執行されていたことが報告された。

質疑応答

第1号議案から第3号議案までについて、議長が出席者に質問がないか尋ねたが、質問はなかった。

議案の採決

第1号議案から第3号議案までについて一括して挙手による採決を行ったところ、WEB参加者も含め出席者全員が賛成し、事前に提出された委任状と合わせて賛成が議決権総数の過半数に達したため、これらの議案は承認可決された。

続いて、関連のある第4号議案から第6号議案までの審議を一括上程方式にて行った。

第4号議案 令和3年度事業方針

清水慎司会長より、令和3年度は、鍼灸業界は厳しい状況にあるが、引き続き業団の拡大、権益の確保、及び鍼灸の普及に努めるという方向性が示された。

第5号議案 令和3年度事業計画

秦宗広副会長より、総会資料別紙5「令和3年度事業計画」のとおり提示、説明がされた。

第6号議案 令和3年度予算案

古思成人財務部長より、総会資料別紙6「令和3年度予算案」のとおり提示、説明がされた。

質疑応答

第4号議案から第6号議案までについて、議長が出席者に質問がないか尋ねたが、質問はなかった。

議案の採決

第4号議案から第6号議案までについて一括して挙手による採決を行ったところ、WEB参加者も含め出席者全員が賛成し、事前に提出された委任状と合わせて賛成が議決権総数の過半数に達したため、これらの議案は承認可決された。

第7号議案 会員種別（当会単独会員制度）の件

藤田洋輔副会長より、総会資料別紙7のとおり、「定款第3章会員について」、学生会員より正会員への移行における経済的負担の軽減、ならびに卒後間もない方の入会促進、また開業後の支出軽減を考慮するため、一定条件、一定期間に限った「当会単独会員制度」の新設が提案された。

質疑応答

議長千葉良仁氏より定款改正が必要かとの質問があり、藤田副会長から必要であるとの回答があった。また、横浜市の吉田志郎氏より賠償責任保険加入への問題はないかとの質問があり、藤田副会長より卒業校の校友会及び日本鍼灸師会の準会員制度の活用により加入が可能であり問題ないとの回答があった。

議案の採決

第7号議案について挙手による採決を行ったところ、WEB参加者も含め出席者全員が賛成し、事前に提出された委任状と合わせて賛成票が議決権総数の2/3に達したため、本議案は承認可決された。

休会制度の件（報告）

本件は、第8号議案から理事会承認における総会報告事項に変更されたため、藤田副会長から別紙8に基づき報告がされた。

以上をもって、すべての審議が終了したため、千葉議長はその任が解かれ議長席から離席した。

7. 閉会の辞

草山真紀夫副会長により、閉会の辞が述べられた。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事、監事および議長は記名押印する。

令和3年6月20日

代表理事

清水慎司



監事

森下元



監事

日野博



議長

千葉良仁

